2023 SEPTEMBER
No.162

一般社団法人 川崎建設業協会　一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

協会ニュース

多摩区　生田緑地（枡形山展望台）

●協会長挨拶　（一社）川崎建設業協会　会長　山根　崇
●寄 稿　川崎南労働基準監督署　署長　松本　進吾
●槌の音　特集　新社長訪問

●会員の作品

白鳥中学校体育館改修その他工事
東生建設　株式会社

東大島小学校校舎改修その他その2工事
大川原建設　株式会社

菅北浦地区下水枝線第58号工事
株式会社　織戸組

市道川崎町田線舗装道補修(切削)工事
株式会社　佐藤工務店

市道浮島町1号線道路補修(打換・切削)工事
重田造園土木　株式会社

一般社団法人 川崎建設業協会　一般社団法人　神奈川県建設業協会川崎支部

協会ニュース

目　　次

3…… 協会長挨拶　（一社）川崎建設業協会　会長　山根　　崇

■ 安全のページ

4…… 第 14 次労働災害防止計画
川崎南労働基準監督署　署長　松本　進吾

■ 理事会ニュース

5…… 理事会ニュース
7…… 懇談会・説明会・見学会・その他行事
8…… 関係団体の動き
9…… 各方面への協力
10…… 【新年賀詞交歓会】関係
10…… 表　彰
11…… 特設作業隊関係
12…… 会員消息

■ 二世会だより

13…… 二世会 59 代会長　ご挨拶

■ 槌の音

17…… 新社長訪問

■ 会員の作品

20…… 白鳥中学校体育館改修その他工事
東生建設　株式会社
21…… 東大島小学校校舎改修その他その２工事
大川原建設　株式会社
22…… 菅北浦地区下水枝線第 58 号工事
株式会社　織戸組
23…… 市道川崎町田線舗装道補修（切削）工事
株式会社　佐藤工務店
24…… 市道浮島町１号線道路補修（打換・切削）工事
重田造園土木　株式会社

25…… 編集後記、表紙の写真説明

お知らせ

協会ニュースは
次号（2024年１月号No.163）より
年間１回（１月）発行となります

（一社）川崎建設業協会　会長
山根　　崇

仲秋の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日頃より一般社団法人川崎建設業協会の活動にご理解並びにご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、今年は関東大震災発災から 100 年の節目の年を迎えました。我々は日常的に地震や台風など、自然災害の脅威にさらされています。特に近年、自然環境の変化により水災害に脅かされています。我々、建設業の責務は災害発生時に公共インフラを速やかに応急復旧すること、そして住民生活をスムーズに復興支援をしていくことであります。そのために川崎建設業協会では特設作業隊を組織しておりますが、今後も行政との連携をより一層深め、日々精進していく必要があります。そしていつ起こるかもしれない有事に確実に対処するためにも我々建設業は永続的に存在をしていかなくてはなりません。しかしながら、現在、担い手不足が大きな問題となっています。このことは建設業界が発展どころか維持をしていくことすら難しい状況であります。現在では人口が減少すると共に生産労働人口は減少し続けています。特に若い世代はあらゆる業種間で取り合いとなっております。正直なところ、建設業において施工管理を行いたいと考えている若者の比率は低位で推移している状態にあります。何故ならば若者が我々業界に向ける目は「キツイ、キタナイ、キケン」に加えて「カエレナイ、キュウヨガヤスイ、キビシイ」の６K などとも言われており、早急にこの業界を魅力あふれる職場とするために改革を行わなければなりません。さもなければ建設業は衰退の一途をたどることにもなります。

６K の一つ「キュウヨガヤスイ」に関連する事として、2023 年度における最低賃金の改定額が全国加重平均額では 1,004 円となり初めて 1,000 円を超えることが発表されました。それにより公共工事設計労務単価も大きく引き上げられることが予想されます。中小建設業にとっては非常に厳しい内容と思われますが、今後の建設業の未来を考えると致し方がないことだと言えます。岸田内閣は今後、十数年で 1,500 円まで最低賃金を上げるとも話しておりますし、これからも上昇していくこととなります。

ロシアによるウクライナ侵攻と円安によるエネルギー、原材料価格の高騰は引き続き続くものとみられ、労務単価だけではなく、建設資機材の価格も押し上げることとなります。いかにして、こうした社会要因を請負金額に転嫁していくかが問題であり経営者にとって大きな選択が迫られています。しかし転嫁をし、それを人的資源に還元していかなくては「キュウヨガヤスイ」ということにつながり、悪循環が続くことになります。現在の環境下で解決を図るべき問題であります。

人口減少する中においても就労人口そのものはここ数年上昇しています。高齢者の増加、女性の社会進出が大きな要因です。しかし、全産業における女性就労者の割合が45％程度あるのに対して、建設業に目を向けると17％～18％となり、技術職に限っては2％にも満たないレベルであります。これは男性社会として成り立ってきた建設業の現実でありますが、今後就労環境を改善することで貴重な担い手として女性が建設業界に流入してくる大きな可能性を感じます。いかに、女性が活躍できるか、また働きたいと思える魅力を作れるかが業界として生き残りがかかります。

そして根本的な担い手不足を補うツールとして建設 DX（ICT 技術や 3D モデル、VR）といった技術を最大限に活用し日々の業務効率を図り、備えていくことがますます重要になってまいります。2024 年 4 月から導入される時間外労働時間の上限規定もそうですが、完全週休二日制などの働き方改革を進めていくためにも底上げ的に発注者、受注者また専門業者も含めて DX に対する共通認識を持って動いていく必要もあります。建設業の魅力向上につなげるためには現在の長時間労働の是正を図りながら労働生産性を向上させていく必要があり、その手段としてデジタルに置き換えられるものはデジタル化していくことが重要であります。

最後に、協会として、将来に渡り地元建設業で働こうという人材を地域で育み、そして地域の建設業で働いてもらう。そして地域の仕事は地元で行う。地域で何かあった際には必ず先陣を切って動くそんなことを目指し活動してまいりたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

第 14 次労働災害防止計画

川崎南労働基準監督署　署長　松本　進吾

今年度から「第14次労働災害防止計画（14次防）」がスタートしています。

労働安全衛生法では、第6条で、「厚生労働大臣は、労働政策審議会の意見をきいて、労働災害の防止のための主要な対策に関する事項その他労働災害の防止に関し重要な事項を定めた計画を策定しなければならない。」とされており、これに基づき、厚生労働大臣が労働災害の防止に関し基本となる目標、重点課題等を定める5か年計画が「労働災害防止計画」です。14次防は令和5年度から令和9年度までの5か年の計画となります。

労働災害防止計画は、戦後の高度成長期における産業災害や職業性疾病の急増を踏まえ、1958年に第1次の計画が策定されたものであり、その後、社会経済の情勢や技術革新、働き方の変化等に対応しながら、これまで13次にわたり策定してこられました。

この間、労働災害や職業性疾病の防止に取り組む国、事業者、労働者等の関係者が協働して安全衛生活動を推進する際の実施事項や目標等を示して取組を促進することにより、我が国の労働現場における安全衛生の水準は大幅に改善しました。

しかしながら、近年の状況を見ると、労働災害による死亡者の数こそ減少しているものの、労働災害による休業4日以上の死傷者の数に至っては、ここ数年増加傾向にあります。

また、労働災害発生率が高い60歳以上の高年齢労働者の労働災害件数が増加しているほか、中小事業場における労働災害の発生が労働災害の多数を占めており、中小事業場を中心に安全衛生対策の取組促進が不可欠な状況にあります。

職場における労働者の健康保持増進に関する課題については働き方改革への対応、メンタルヘルス不調、労働者の高年齢化や女性の就業率の上昇に伴う健康課題への対応、治療と仕事の両立支援やコロナ禍におけるテレワークの拡大等多様化しており、現場のニーズの変化に対応した産業保健体制や活動の見直しが必要となつています。

さらに、13次防の計画期間を経て、化学物質による重篤な健康障害の防止や石綿使用建築物の解体等工事への対策の着実な実施が必要となってきています。

このような状況を踏まえ、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全で健康に働くことができる職場環境の実現に向け、令和5年度を初年度として、5年間にわたり国、事業者、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項を定めた「第14次労働災害防止計画」が策定されたところです。

目新しいところとしましては、これまで13次にわたる計画では災害件数の削減を目標としていたところ、「アウトプット指標」と、「アウトカム指標」という2つの指標を使って、計画に定める実施事項の効果検証を行うこととなります。

例えば「作業行動に起因する労働災害防止対策」に関しては、「転倒災害対策（ハード・ソフトの両面からの対策）に取り組む事業場の割合を50パーセント以上とする」が、アウトプット指標、「転倒の年齢層別死傷年千人率を男女ともその増加に歯止めをかける」が、アウトカム指標、「高年齢労働者の労働災害防止対策」では、「エイジフレンドリーガイドラインに基づく取組を実施する事業場の割合を50パーセント以上にする」が、アウトプット指標、「60歳代以上の死傷年千人率を2027年までに男女ともその増加に歯止めをかける」が、アウトカム指標、といった具合です。

そのうえで、死亡災害を5パーセント以上減少させ、死傷災害については増加傾向に歯止めをかけ、2027年までに減少させる計画としています。

そして、「計画の方向性」として、「事業者の安全衛生対策の促進と社会的に評価される環境の整備を図っていく。そのために、厳しい経営環境等様々な事情があったとしても、安全衛生対策に取り組むことが事業者の経営や人材確保・育成の観点からもプラスであると周知する。」としています。

労働者の安全衛生対策に積極的に取り組む事業者が社会的に評価される環境を醸成し、安全と健康の確保のさらなる促進を図ることが望まれるという考え方です。

一般社団法人川崎建設業協会及び会員の皆様方のますますのご発展と、安全衛生対策に積極的に取り組む事業者が社会的に評価される環境の実現を祈念し、本稿を結びます。

理事会ニュース

1月18日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和5年正月太子講祭について

●次第

●招待者の出欠一覧表

※2月の執行部会・理事会の休会について

※工事請負契約における入札契約制度の見直しについて

財政局契約課長

※川崎市石綿飛散防止対策セミナーの開催について

川崎市長

※施工体制台帳の作成等について

県土整備局建設業課長

(神建協・連絡)

特にありません。

3月15日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

●総務委員会：講習会の開催について

※2023年トルコ・シリア地震救援金について

寄託先：日本赤十字社川崎地区本部地区本部長川崎市長

※令和5年度主要行事予定(案)について

※令和5年正月太子講祭の結果について

※川崎市労働問題懇談会委員の推薦について

川崎市長

期　　間　令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年間)

被推薦者　副会長大島裕和氏(継続)

※令和4年度第2回宮前区総合防災訓練参加に係る費用の支出について

2月12日(日)川崎市立有馬中学校

※講習会の開催について

開催期日　4月21日(金)午後3時～

(質疑を含めて90分を予定)

開催場所　川崎建設会館4階講堂

講習内容　(仮)建設キャリアアップシステムの利活用について

※工事請負契約における入札契約制度の見直しについて

財政局長

※公共工事設計労務単価等の改定(令和5年3月)に伴う特例措置等の実施について

川崎市長

※会員の退会について

●古谷建設工業㈱ 代表取締役 古谷 敏則(3月31日付退会)

(会員数103社→102社)

※住所の変更(住居表示変更)について

◆長栄興業㈱(令和5年1月23日付)

新：〒213-0034　川崎市高津区上作延1-1-25

チョウエイビル3F

TEL・FAX変更ありません

(神建協・連絡)

特にありません。

4月12日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

※建設工事等におけるガス管損傷事故等の防止について

県土整備局建設業課長

※特定工事請負契約の作業報酬下限額について

財政局契約課長

※令和5年度「春の全国交通安全運動」等の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

※令和5年度仮設物損料その他経費負担協定について

締結日：4月1日(協定内容は3者とも昨年と同じです。)

締結先：(一社)川崎市電設工業会、(一社)川崎市空調衛生工業会

川崎市通信設備連絡協議会

※顧問弁護士による法律相談日の日程変更について

◆令和5年11月の第4木曜日(11月23日)は、祝日と重なるため、翌日の24日(金)に変更します。

◆令和6年1月の第4木曜日(1月25日)は、正月太子講祭と重なるため、翌日の26日(金)に変更します。

(神建協・連絡)

※令和5年度協会表彰式

日　時　5月23日(火)午前10時15分

場　所　神奈川県建設会館

※令和5年度通常総会

日　時　5月23日(火)午前11時

場　所　神奈川県建設会館

5月17日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

●総務委員会：令和4年度入札結果集計表(協会員実績)について

※令和5年度(第78回)定時総会の開催について

日　時　令和5年6月29日(木)午後2時

会　場　川崎建設会館　4階講堂

議　題　【議決事項】

①令和4年度事業報告について
②令和4年度収支決算の承認及び公益目的支出計画実施報告書(案)について
【報告事項】
①令和5年度事業計画及び収支予算について

※商工会議所機関誌「かいぎしょ」7･8月合併号への暑中見舞い広告の掲載について

※第44回かわさき市民祭り実行委員会の発足に伴う実行委員の推薦について

川崎市長
被推薦人：副会長　佐藤雅徳氏

※事務局夏季休業について
休業日：8月14日(月)～18日(金)

※産業廃棄物管理票交付等状況報告の提出について
神奈川県環境農政局資源循環推進課長

※弔慰について
●企画委員会委員
ケイ・アイ株式会社　代表取締役　井上　和俊様
ご母堂　井上　恵美子様(76歳)5月14日　ご逝去

※代表者の変更について
◆長栄興業株式会社(5月11日付)
新：代表取締役　長沼　健太
旧：代表取締役　長沼　　初

※会員の退会について
◆㈲川中工務店　代表取締役　市川　　茂(4月30日付)
◆大場建設㈱　　代表取締役　大場　秀光(4月30日付)
(会員数102社→100社)

※新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴う県の対応について
神奈川県知事

※第12回スマートライフスタイル大賞の募集について
川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)

※令和5年度川崎市若手技術者・女性技術者表彰の表彰対象者の募集について
財政局検査課

※体温サーモカメラの撤去について
撤去日：6月30日(金)

(神建協・連絡)

※支部・地元協会役員との意見交換会の日程について
日　時　令和5年5月17日(水)午後1時30分
場　所　川崎建設会館　会議室
形　式　意見交換会
協会出席者　会長並びに土木、建築委員会担当副会長、正副委員長
神建協出席者　会長、協会事務局、技士会参与7名程度

6月14日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和5年度定時総会の開催次第について

※令和5年度定時総会の議案について

※第82回川崎市制記念多摩川花火大会の開催に伴う協賛について
(一社)川崎市観光協会代表理事・会長　齋藤　文夫
開催日時　10月21日(土)17時～19時
会　　場　多摩川河川敷(二子橋～第3京浜の間)

※第47回高津区民祭の開催に伴う協賛について
高津区民祭実行委員長　大島　　明

※稲毛神社例大祭名入提灯の協賛について
稲毛神社氏子青年会
提灯設置期間　7月23日(日)～8月6日(日)(15日間)
協会名入提灯　3,000円×5灯=15,000円

※新聞各社への暑中広告掲載費の支出について

※日刊建設工業新聞社・2023年度神奈川安全企画特集号への広告掲載について

※日刊建設通信新聞社・神奈川県内建設業労働災害撲滅キャンペーン「2023年度全国安全週間」企画特集号への広告掲載について

※事務局職員に対する夏季手当支給について

※代表者の変更について
◆大道産業㈱(令和5年6月1日付)
新：代表取締役　佐藤　利明
旧：代表取締役　酒井　　仁

(神建協・連絡)

特にありません。

7月12日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について
●総務委員会：健康診断の実施について

※9月太子講祭の開催について
日　時　9月27日(水)午後1時15分開講～午後2時
太子講祭開会

※令和5年度川崎市労働災害防止功労者及び功労団体の推薦について
川崎市長
◆功労者：㈱村松工務店　代表取締役　村松　久
(建災防川崎南分会より推薦)
◆功労団体：月野建設㈱(建災防川崎北分会より推薦)

※健康診断の実施について
(1)日　時　10月17日(火)午前9時30分～11時30分
・午後1時～3時30分

場　所　川崎市民プラザ（高津区新作1-19-1ふるさと劇場）

(2)日　時　10月26日（木）午前9時00分～11時30分

場　所　川崎建設会館4階講堂

※建設業法令遵守ガイドラインの一部改正について

県土整備局建設業課長

※発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドラインの一部改正について

県土整備局建設業課長

※夏季の省エネルギーの取組について

経済産業省資源エネルギー庁長官

※令和5年度夏の交通事故防止運動の実施について

川崎市交通安全対策協議会

実施期間　7月11日（火）～20日（木）までの10日間

※代表者の変更について

◆㈱井上工務店（6月9日付）

新：代表取締役　鈴木　典秀

旧：代表取締役　井上　裕司

※川崎建設会館（協会内）喫煙所の設置について

設置場所2階1か所、3階1か所

（神建協・連絡）

特にありません。

懇談会・説明会・見学会・その他行事

12月14日、健康福祉局長室において、「令和4年年末助け合い運動」への協力金として、山根会長（大島、佐藤副会長同席）より、宮脇健康福祉局長へ20万円を寄託し、川崎市長から感謝状をいただいた。

1月5日、川崎建設会館において、（一社）川崎建設業協会並びに神中建川崎支部合同の令和5年賀詞交換会が開催され、会員多数が参加し盛会に行われた。

1月18日、正副会長並びに神中建川崎支部長は、福田川崎市長をはじめ、加藤、藤倉副市長、関係局長及び関係団体へ新年の挨拶廻りを行った。

1月18日、川崎建設会館において、建築委員会はまちづくり局と施設整備に関する意見交換会を開催し、まちづくり局より原嶋施設整備部長をはじめ7名、建築委員会から大島担当副会長、大川原委員長をはじめ13名が出席した。

1月26日、川崎日航ホテルにおいて、令和5年正月太子講祭が開催され、福田川崎市長をはじめ多くの来賓をお迎えし、多数の会員出席のもと盛会に行われた。

2月1日、川崎建設会館において、（一社）川崎市電設工業会と包括管理業務に関する打合せ会を開催し、（一社）川崎市電設工業会より加藤会長をはじめ7名、当協会より山根会長、大島副会長、建築委員会正副委員長、事務局員の5名が出席した。

2月7日、川崎建設会館において、建築委員会はまちづくり局と市営住宅等ストック総合活用計画（案）についての意見交換会を開催し、まちづくり局より白石住宅整備推進課長、清水住宅建替推進課長をはじめ5名が出席、建築委員会から大島担当副会長、大川原委員長をはじめ5名が出席した。

2月8日、建設緑政局において、土木委員会は建設緑政局技術監理課と技術研修会に向けた事前の意見交換会を開催し、技術監理課より星野課長をはじめ6名が出席、土木委員会より重田委員長をはじめ副委員長2名及び事務局員が出席した。

4月12日、正副会長は、令和5年4月1日付け川崎市人事異動に伴い、財政局長、健康福祉局長、経済労働局長へ挨拶廻りを行った。

4月19日、フロンティアビルにおいて、川崎市地域団体連絡会議総会が開催され、山根会長が出席した。

4月21日、川崎建設会館において、一般財団法人建設業振興基金より講師をお招きして総務委員会主催の「建設キャリアアップシステム（CCUS）について」の講習会が開催され、会場に約40名、Web視聴で約70名が参加した。

4月22日、帝国ホテルにおいて、㈱織戸組創業100周年記念祝賀会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月22日、北品川（屋形船）において、常置委員会合同懇談会が開催され、山根会長をはじめ、正副会長、各委員会委員35名が出席した。

6月1日建築委員会は川崎住宅公園において、現場見学会を開催し、大川原建築委員会委員長をはじめ12名が出席した。

6月7日、川崎建設会館において、（一社）川崎建設業協会令和4年度事業報告並びに収支決算及び公益目的支出計画実施報告について、佐藤、篠原、庄嶋監事による会計監査が行われた。

6月29日、川崎建設会館において、福田川崎市長、草壁川崎商工会議所会頭、松尾（一社）神奈川県建設業協会会長を来賓に迎え、令和5年度定時総会が開催され、決議事項として、第1号議案「令和4年度事業報告」並びに第2号議案「収支決算の承認」及び「公益目的支出計画実施報告書」について審議し、原案どおり承認可決した。その後、報告事項1「令和5年度事業計画」、報告事項2「令和5年度収支予算」を報告した。

【令和6年度への予算要望について】

7月7日、市役所第2庁舎において、正副会長並びに岡村神中建川崎支部長は、藤倉副市長と面談し、川崎市長あての令和6年度への要望（8項目）について、意見交換を行った。

=要望項目=

⑴週休2日制導入に対する設計労務単価の見直しについて（建築・継続）
⑵補助金事業における補助金額の見直しについて（建築・継続）
⑶PPP・PFI事業導入に関する対応について（建築・継続）
⑷資材単価高騰に対する単品スライドの導入について（建築・新規）
⑸発注時期及び施工時期の平準化について（土木・新規）
⑹施工難度に基づく補正と工事成績評定での加点について（土木・新規）
⑺「設計変更ガイドライン」に基づく適切な設計変更について（土木・新規）
⑻監督員や検査員に対する受注者からの評価収集について（土木・新規）

関係団体の動き

1月5日、ロイヤルパークホテル横浜において、令和5年建設業関連5団体合同賀詞交歓会が開催され、来賓に黒岩県知事、県会議長らをお迎えして盛会に行われ、村松副会長（川崎支部長）をはじめ、会員多数が出席した。

2月17日、神奈川県建設会館において、第2回建築委員会が開催され、村松担当副会長が出席した。

2月21日、神奈川県建設会館において、第2回土木委員会が開催され、重田委員が出席した。

2月22日、神奈川県建設会館において、支部事務局長会議が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

2月24日、神奈川県建設会館において、関東地方整備局神奈川県内事務所長との意見交換会が開催され、村松副会長が出席した。

3月2日、神奈川県建設会館において、第5回みらい委員会が開催され、大川原、吉田委員が出席した。

3月3日、神奈川県建設会館において、県土整備局住宅営繕事務所との意見交換会が開催され、村松副会長、大島委員が出席した。

3月6日、神奈川県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会の第3回運営委員会開催され、藤原委員が出席した。

3月14日、神奈川県建設会館において、第4回理事会が開催され、村松副会長、大島、重田、佐藤理事が出席した。

4月18日、神奈川県建設会館において、令和5年度第1回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

4月21日、県建設会館において、令和4年度神奈川県建設業協会の会計監査が開催され、山根監事が出席した。

4月25日、県建設会館において、令和5年度第1回理事会が開催され、村松副会長、福島理事、大島理事、重田理事、佐藤理事、山根監事が出席した。

4月25日、県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会令和5年度第1回理事会が開催され、福島川崎支部長が出席した。

5月17日、川崎建設会館において、神建協及び土木施工管理技士会と川崎支部の令和5年度意見交換会が開催され、村松副会長（川崎支部長）並びに川建協山根会長をはじめ、土木、建築委員会担当副会長、正副委員長及び事務局の9名が出席し、働き方改革の対応状況や県・市発注工事に係る入札・契約及び施工上の課題等について意見交換を行った。

5月23日、県建設会館において、令和5年度（一社）神奈川県建設業協会表彰式が開催され、川崎支部では次の方が受賞した。

◆特別功労	藤原　秀幸様	藤原建設㈱
	渡辺誠一郎様	㈱渡辺土木
◆会員の従業員	粟竹　　忠様	㈱大山組
	後藤　誠次様	〃
	梅田　淳一様	〃
	加曽利純一様	〃
	田中　勝巳様	野州工業㈱
	小川　和則様	〃
	中村　　賢様	〃
	真壁　理文様	〃

5月23日、県建設会館において、令和5年度通常総会が開催され、令和4年度事業報告並びに決算について審議し、いずれも原案通り可決・承認された。また、報告事項として、令和5年度事業計画及び予算について報告があった。

5月23日、県建設会館において、令和5年度神奈川県土木施工管理技士会総会が開催され、令和4年度事業報告並びに決算について審議し、原案通り可決・承認された。また、報告事項として、令和5年度事業計画及び予算について報告があった。

6月19日、県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会の令和5年度第1回運営委員会が開催され、藤原委員が出席した。

6月20日、県建設会館において、令和5年度第2回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

6月21日、県建設会館において、令和5年度第1回建設みらい委員会が開催され、大川原委員が出席した。

6月26日、県建設会館において、令和5年度第1回建築委員会が開催され、村松副会長と大島委員が出席した。

6月28日、県建設会館において、令和5年度第1回土木委員会が開催され、重田委員が出席した。

6月29日、県建設会館において、令和5年度第1回企画委員会が開催され、佐藤委員が出席した。

各方面への協力

12月16日、川崎市総合自治会館において、かわさき市民放送㈱第4回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

1月10日、フロンティアビルにおいて、(一社)川崎市電設工業会の賀詞交歓会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

1月11日、横浜ベイシェラトンにおいて、公明党神奈川県本部新春の集いが開催され、山根会長、大島副会長、門ノ沢専務理事が出席した。

2月1日、ロイヤルホールヨコハマにおいて、神奈川維新の会政経セミナーが開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

2月13日、市役所第3庁舎において、令和4年度第2回川崎市労働問題懇談会が開催され、大島副会長が委員として出席した。

2月14日、オンラインにより、川崎市PPPプラットフォームコアメンバー会議が開催され、大島副会長と鳥羽建築委員会副委員長が委員として出席した。

2月14日、川崎市産業振興会館において、令和4年度第3回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

2月20日、川崎日航ホテルにおいて、田中和徳衆議院議員新春の集いが開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

2月22日、ステーションコンファレンス川崎において、指定都市市長会シンポジウムin川崎が開催され、山根会長をはじめ執行部委員が出席した。

3月1日、川崎日航ホテルにおいて、自由民主党川崎市支部連合会「令和5年春のつどい」が開催され、山根会長と門ノ沢専務理事が出席した。

3月17日、川崎市総合自治会館において、かわさき市民放送㈱令和4年度第6回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

3月22日、市役所第4庁舎において、川崎市木材利用促進フォーラム運営委員会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員として出席した。

3月23日、川崎市産業振興会館において、令和4年度第2回川崎市産業振興協議会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

3月24日、NEC玉川ルネッサンスシティホールにおいて、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会第2回総会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

3月30日、川崎市役所第3庁舎において、2023年トルコ・シリア地震救援金として、山根会長(大島、佐藤副会長同席)より、日本赤十字社川崎市地区本部長(川崎市長)へ100万円を贈呈し、川崎地区本部長である川崎市長より感謝状をいただいた。

4月19日、オンラインにおいて、川崎市環境審議会脱炭素部会の「建築士太陽光発電設備説明制度」の説明会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員として出席した。

4月24日、川崎日航ホテルにおいて、かわさき自民党演説会が開催され、山根会長、門ノ沢専務理事が出席した。

5月11日、ホテルKSPにおいて、(一社)神奈川県測量建設業協会川崎支部設立60周年記念式典・祝賀会が開催され、大島副会長が来賓として出席した。

5月19日、川崎フロンティアビルにおいて、(一社)神奈川県建築士会川崎支部の令和5年度通常総会後の懇親会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月24日、横浜合同庁舎において、令和5年度神奈川県魅力ある建設事業推進協議会幹事会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

5月26日、ユニオンビルにおいて、(一社)神奈川県建築士事務所並びに(一社)川崎市建築設計事務所協会の令和5年度合同定時総会交流会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月30日、川崎日航ホテルにおいて、建災防神奈川支部川崎南分会の令和5年度通常総会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月31日、新川崎・創造のもりにおいて、令和5年度第1回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

5月31日、ホテルKSPにおいて、建災防神奈川支部川崎北分会の令和5年度通常総会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

6月2日、武蔵小杉タワープレイスにおいて、かわさき市民放送㈱2023年度第1回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

6月5日、市役所第4庁舎において、川崎市PPPプラットフォーム第13回コアメンバー会議が開催され、大島副会長と鳥羽建築委員会副委員長がオンラインで出席した。

理事会ニュース

6月5日、川崎建設会館において、交建会の令和5年度講習会並びに懇親会が開催され、門ノ沢専務理事が来賓として出席した。

6月6日、川崎フロンティアビルにおいて、川崎市道路利用者会議理事会及び第44回定時総会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

6月6日、横浜第2合同庁舎において、第4回神奈川県建設業関係労働時間削減推進協議会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

6月6日、川崎市役所第3庁舎において、第44回かわさき市民祭り実行委員会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

6月20日、川崎商工会議所において、「川崎市の幹線道路の整備を促進する会」の令和5年度第1回幹事会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

6月26日、成喜において、令和5年度幸友会通常総会が開催され、門ノ沢専務理事が来賓として出席した。

6月27日、川崎市総合自治会館において、令和5年度第28回かわさき市民放送定時株主総会が開催され、山根会長が取締役として出席した。引き続き、第2回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

7月7日、川崎フロンティアビルにおいて、かわさき水ビジネスネットワーク2023年度総会及び意見交換会が開催され、山根会長が出席した。

【新年賀詞交歓会】関係

1月19日、川崎日航ホテルにおいて、建設業労働災害防止協会神奈川支部川崎南分会の新年賀詞交歓会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

1月20日、ホテルKSPにおいて、建設業労働災害防止協会神奈川支部川崎北分会の新年賀詞交歓会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

1月20日、川崎日航ホテルにおいて、(一社)川崎塗装業協会の新年賀詞交換会が開催され、大島副会長が来賓として出席した。

1月27日、川崎日航ホテルにおいて、(一社)川崎市空調衛生工業会の新年賀詞交歓会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

1月27日、川崎日航ホテルにおいて、川崎市管工事業協同組合の新年賀詞交換会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

表　彰

(敬称略)

令和4年度川崎市優良建築設計者表彰

1月31日、まちづくり局長室において

㈱北島工務店　代表取締役　北島　克己

令和4年度建設ステーション元気アップコンテスト技能者表彰

3月24日、横浜情報文化センターにおいて

大規模工事部門入選：ジェクト㈱

令和5年度(一社)神奈川県建設業協会表彰

5月23日、神建協通常総会において

特別功労	藤原　秀幸	藤原建設㈱
	渡辺誠一郎	㈱渡辺土木
会員従業員	㈱大山組	粟竹　　忠、後藤　誠次、梅田　淳一、加曽利純一
	野州工業㈱	田中　勝巳、小川　和則、中村　　賢、真壁　理文

令和5年度(一社)全国建設業協会表彰

6月6日、全建総会において

・25年以上にわたりよく職務に精励し、勤務成績が良好で有る者

㈱織戸組　　田中　政明

ジェクト㈱　阿部　満昭、福山　哲己

篠原建設㈱　真柳　升一

・建設業団体の職員

川崎支部事務局　猿山　隆夫

令和5年度川崎市商工業従業員永年勤続者表彰

7月12日、川崎市産業振興会館において

㈱織戸組　　大西美代子

㈱伸栄工事　　木原　　博

大恵建設㈱　　松林　　武

藤光建設㈱　　中島　雅美

㈱山根工務店　肥后　和暁

令和5年度川崎市優良業者表彰

8月25日、川崎市役所第3庁舎において

下水管きょ部門	㈱由貴工務店、㈱織戸組
舗装部門	㈱佐藤工務店、重田造園土木㈱
建築部門	大川原建設㈱、東生建設㈱
水道施設部門	重田造園・重田共同企業体

水道施設部門　　石塚・神明共同企業体
造園部門　　㈱美栄工業
鋼構造物部門　　長栄興業㈱

若手技術者表彰

石塚　太一（石塚土木）
村石　明洋（重田造園土木）
岩田　　順（大恵建設）

女性技術者表彰

星野　弘美（神明建設）
丸山　晴美（丸栄建設）

特設作業隊関係

12月22日、麻生区役所道路公園センターにおいて、麻生区道路公園センターと麻生作業隊との災害発生時に係る車両等の燃料確保の方法や雪害対策などについて意見交換会を実施し、麻生区道路公園センターより平井所長をはじめ5名、麻生作業隊より根本隊長をはじめ3名が出席した。

1月17日、多摩区道路公園センターにおいて、多摩作業隊は多摩区道路公園センターと雪害対策について意見交換会を実施し、多摩区道路公園センターより津久井整備課長をはじめ2名が出席、多摩作業隊より金光隊長をはじめ5名が出席した。

1月25日、川崎区役所において、令和4年度川崎区危機管理地域協議会・第1回ライフライン部会が開催され、川崎作業隊より石塚隊長、松本副隊長が出席した。

2月12日、市立有馬小学校において、令和4年度第2回宮前区総合防災訓練が開催され、宮前作業隊より河合隊長をはじめ6社7名が参加し、災害復旧のパネル展示や重機の展示、重機等ラジコン操作体験などを行い、建設業と特設作業隊の啓発に努めた。

3月1日、幸区役所において、令和4年度第2回幸区災害対策協議会地域防災連携部会が開催され、幸作業隊髙橋副隊長が出席した。

4月28日、川崎市総合自治会館において、令和5年度川崎市自主防災組織連絡協議会総会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が理事として出席した。

6月4日、多摩川河川敷において、令和5年度川崎市多摩川美化活動が実施され、中原作業隊より横山副隊長をはじめ8名が参加した。

6月9日、川崎区役所道路公園センターにおいて、川崎区道路公園センターと川崎作業隊は、令和5年度の打合せ会を開催し、令和5年度の事業説明並びに、今後の災害復旧等について打合せを行い、川崎区道路公園センターより小林所長をはじめ3名、川崎作業隊より石塚隊長をはじめ3名が出席した。

6月13日、多摩区役所において、令和5年度川崎市総合防災訓練・第44回九都県市合同防災訓練の事前会議が開催され、多摩作業隊より金光隊長をはじめ4名、事務局より2名が出席した。

6月12日、幸区役所において、令和5年度幸区自主防災連絡協議会総会が開催され、幸作業隊の吉田隊長が出席した。

6月14日、高津区役所道路公園センターにおいて、高津区道路公園センターと高津作業隊との事業説明会が開催され、高津道路公園センターより藤井所長をはじめ4名、高津作業隊より浅川隊長をはじめ3名が出席し、令和5年度事業の説明を受けた後、災害時の応急対応等について意見交換を行った。

6月29日、麻生区役所道路公園センターにおいて、麻生区道路公園センターと麻生作業隊との意見交換会が開催され、麻生区道路公園センターより平井所長をはじめ5名、麻生作業隊より根本隊長をはじめ5名が出席し、災害時の応急対応に関する情報共有や、来年度の総合防災訓練等について意見交換を行った。

7月6日、川崎建設会館において、川崎区役所道路公園センター・南部都市基盤整備事務所と川崎作業隊との事業連絡懇談会が開催され、川崎区役所道路公園センターより小林所長をはじめ2名、南部都市基盤整備事務所より多賀所長が出席、川崎作業隊より石塚作業隊長をはじめ11名が出席し、令和5年度の事業説明を受けた後、緊急時の応急復旧等について意見交換を行った。

7月13日、幸区役所において、幸区道路公園センターと幸作業隊との災害対応等の意見交換会が開催され、幸道路公園センターより沼田所長をはじめ4名が出席、幸作業隊より吉田隊長をはじめ9名が出席し、災害時の応急対応全般について意見交換を実施した。

7月14日、中原区役所道路公園センターにおいて、中原区防災・建設研修会が開催され、中原区道路公園センターより大野所長をはじめ6名、南部都市基盤整備事務所から多賀所長が出席、中原建友会並びに中原作業隊より横山会長、重田隊長をはじめ9名が出席し、中原区道路公園センターより区内における剪定業務に係る死亡事故の報告、中原区管内道路工事の説明、区の防災訓練等について説明があり、働き方改革や災害対応など多岐にわたり意見交換を実施した。

7月26日、宮前区役所道路公園センターにおいて、令和5年度宮前区役所道路公園センター事業説明会並びに防災に関する意見交換会が開催され、宮前区道路公園センターより矢口所長をはじめ3名が出席、建設業宮前区会並びに宮前作業隊より青柳会長、河合隊長をはじめ14名が出席し、

区の事業概要の説明が行なわれた後、災害発生時の対応や土木工事等の情報共有システム等に関する意見交換を実地した。

8月4日、幸区役所において、令和5年度幸区災害対策協議会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

8月7日、多摩区役所において、令和5年度川崎市総合防災訓練・第44回九都県市合同防災訓練の第2回事前会議が開催され、多摩作業隊より金光隊長と利部庶務班長が出席、事務局より門ノ沢専務理事をはじめ2名が出席した。

9月3日、多摩区菅多目的広場及び市立南菅中学校において、令和5年度川崎市総合防災訓練・第44回九都県市合同防災訓練が、関係機関や市民らが参加して実施された。午前8時30分川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3、最大震度7の強い地震が発生し、多摩区をはじめとする市内全域で、家屋の倒壊や火災により、多数の死傷者が出ているとの想定で訓練が開始され、防災対策特設作業隊より山根本部長以下8名の参加のもと、多摩作業隊金光隊長以下12社は、午前10時47分道路啓かい訓練を開始、道路上に散乱した瓦礫を多摩道路公園センター先導のもと、迅速な対応で除去し、午前10時55分無事訓練を終了した。

9月10日、幸区河原町グランドほかにおいて、令和5年度第1回幸区総合防災訓練が開催され、幸作業隊は吉田隊長をはじめ3名が出席し、重機の展示や災害派遣活動パネルの展示などを行い、川崎建設業協会と作業隊のPRに努めた。

会員消息

弔事

企画委員会委員

ケイ・アイ㈱　代表取締役　井上和俊様

ご母堂　井上恵美子様（76歳）　5月14日ご逝去

代表者変更

長栄興業㈱　代表取締役　長沼　健太（5月11日付）

大道産業㈱　代表取締役　佐藤　利明（6月1日付）

㈱井上工務店　代表取締役　鈴木　典秀（6月9日付）

住所変更

長栄興業㈱（1月23日付）

〒213-0034　高津区上作延1-1-25　チョウエイビル3F

TEL・FAX変更ありません

大道産業㈱（8月11付）

〒213-0029　高津区東野川1-8-24

会員の退会

古谷建設工業㈱　代表取締役　古谷　敏則（3月31日付）

㈲川中工務店　代表取締役　市川　茂（4月30日付）

大場建設㈱　代表取締役　大場　秀光（4月30日付）

二世会 59 代会長　ご挨拶

株式会社　KEIHIN
飯島　一貴

この度令和5年5月10日に開催されました通常総会において澤田貴裕57・58代会長の後任として、二世会59代会長に選出されました飯島一貴です。

私が二世会へ入会させていただいてから6年が過ぎました。入会当初は、二世会への参加は現場を仲間より早く切り上げないと間に合わなかったので、そこまでして参加の意味があるのかと何度となく思いながらごまかし参加しておりました。

この6年が過ぎた今、先輩方と一緒に活動をさせていただき色々な経験をし学んできたことがこんなにもスキルアップに繋がることとは思いもしませんでした。この大切なことを一人でも多くの仲間に二世会へ入会して良かったと思ってもらえるような環境づくりをこれからもして行きたいと思います。

そんな二世会は次世代に引き継ぎ人材を育成し、川崎市の発展に貢献することを目指し持続可能な未来を築くために、団結して取り組み、新しい取り組みも積極的に採用し、地域の信頼を得る事が必要だと思います。二世会は今後の川崎市発展に向けた新しい繁栄を目指して、会員全員が一致団結して支援することを目指します。

現在日本は、65歳以上の高齢者が約29.0%となっており50年後には40.0%が高齢者になり、川崎市は20.4%高齢者になります。

高齢者は増え少子化が進む中、建設業の担い手不足という厳しい状況はこの何年変わらず続いております。この状況を打破するためには私たちが業界を挙げて努力していかなくてはなりません。

結びになりますが、諸先輩方が今まで築かれた歴史をしっかりと引き継げるように、来年には60周年記念会という大イベントが待ち構えておりますので、二世会会員一同頑張ってまいります。引き続き皆様方におかれましても、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年5月

令和5年1月5日

第7回　役員会(新年顔合わせ)

協会の新年賀詞交換会終了後、「シーハーズ」に移動して開催。今後の活動等について協議した。

令和5年1月13日

1月例会　新年懇親会

午後6時より三年ぶりに新年懇親会を、川崎日航ホテル「しゃぶ禅」にて開催。山根協会長を始め、諸先輩及び現役会員多数出席し、一年の奮闘を誓い合った。

参加者　30名

令和5年1月25日

川崎市建設青年会　幹事会

午後6時30分より、「鋼友荘」にて開催。
令和5年度のCSR活動、今後の活動等ついて協議した。

令和5年2月10日

第8回　役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
家族交流会、川崎市建設青年会(CSR活動)等について協議した。

令和5年2月18日

第97回リーダースカップ
キングフィールズゴルフクラブ　にて開催

参加者　15名
優　勝　長沼　健太(長栄興業㈱)
準優勝　加藤　大貴(加藤土建㈱)
3　位　重田　洋一(㈱重田組)

令和5年3月3日

第9回　役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
研修旅行、県青連春季親睦会、令和5年度通常総会準備等について協議した。

令和5年4月7日

第10回役員会、お疲れ様会　開催

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室において開催。来期の活動等意見交換を交えながら一年の労をねぎらった。

令和5年4月15日

神奈川県建設業青年団体連絡協議会(県青連)春季親睦会 開催

藤沢市「秋葉文化体育館」での大相撲藤沢場所観戦

令和5年4月27日

川崎市建設青年会　CSR準備会、懇親会　開催

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室において開催。今後の活動について討議した。

令和5年5月10日

令和5年度　通常総会

午後6時より、川崎建設会館4階講堂にて開催。
総会出席者　会員22名中21名(うち委任状提出3名)
第1号議案　令和4年度　事業報告について
第2号議案　令和4年度　収支決算報告について
第3号議案　令5年度　役員選出

総会終了後、同会場において二世会相談役・参与、協会専務理事にご参加いただき懇親会を開催した。

令和5年度(第59代)二世会　新役員(全22名)

会　長	飯島　一貴	㈱KEIHIN
副会長	加藤　大貴	加藤土建㈱
副会長	井上　和俊	ケイ・アイ㈱
会　計	福本　誠慶	㈲喜有組
幹　事	浅川　雄喜	浅川建設工業㈱
幹　事	石田　　純	追川建設㈱
幹　事	石塚　太一	㈱石塚土木
幹　事	河合　一徳	河合土木㈱
幹　事	佐野真太朗	㈱佐野建設
幹　事	澤田　貴裕	㈱澤田組
幹　事	城田　博章	東生建設㈱
幹　事	髙橋　達也	高橋建設興業㈱
幹　事	鳥羽　貴仁	㈱興建
幹　事	長沼　健太	長栄興業㈱
幹　事	福島　章太	大栄建設㈱
幹　事	藤原　秀幸	藤原建設㈱
幹　事	松村　英明	㈲一興業
幹　事	松本　勝明	神明建設㈱
幹　事	柳　　浩先	㈲柳商店
幹　事	矢野　雄樹	㈱トモエコーポレーション
幹　事	吉田　哲也	㈱トビキク
幹　事	渡辺誠一郎	㈱渡辺土木

令和5年5月14日

令和5年度川崎市市民野球大会一回戦

小田球場にて、「コブラ」と対戦し、逆転サヨナラ勝利。

令和5年6月2日～4日

研修旅行　→中止

研修旅行(沖縄)を計画したが、大型台風発生によりやむなく中止を決めた。

令和5年6月9日

懇親会

沖縄居酒屋「びんがた」にて、研修旅行中止残念会と新年度の交流会を開催し、今後の活動等意見交換を行った。

令和5年6月14日

川崎市建設青年会「CSR活動」ミストシャワー設置

盛夏に向けての熱中症対策として、CSR活動で三年目となるミストシャワーを川崎市上丸子小学校に設置(寄贈)した。

令和5年6月26日

第1回　役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
59周年記念会について、建設青年会の報告、今後の活動方法等について協議した。

令和5年7月14日

第2回　役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
「59周年記念会、歴代会長・新旧役員」懇親会の開催に向けた打合せ、幹事団体となる、県青連秋季親睦会等について協議した。

令和5年8月1日

「59周年記念会、歴代会長・新旧役員」懇親会 開催

「ザ・カハラ・ホテル＆リゾート横浜」にて開催。

特集　新社長訪問

会社名　**長栄興業株式会社**

代表者　代表取締役　長沼健太

住　所	川崎市高津区上作延1-1-25
電　話	044-870-1853
ＦＡＸ	044-877-0371
ＵＲＬ	http://www.choei-k.co.jp

代表者プロフィール

家族構成	妻・子2人
血液型	A型
出　身	川崎市高津区
趣　味	スポーツ観戦、ゴルフ
好きな言葉	おかげさま
好きなもの	サウナ
社長就任日	令和5年6月

■会社概要、沿革、業務内容をお聞かせください。

1949年創業し、多摩ニュータウンなどの造成工事を主に施工しておりました。

現会長（長沼初）の代になり、川崎市及び神奈川県発注の公共案件も手がけるようになりました。

土木・建築・不動産の3つの柱で事業を展開しています。

■社訓・経営理念・御社が目指していることをお聞かせください。

長栄興業という社名は“工業”ではなく、“興業”という漢字を使っています。

これは先代からの教えで、時代にあわせて新しい事業を興していくという意味が込められています。経験のないことでもチャンスがあれば挑戦していく姿勢が大切だと教えられてきました。私は前職が不動産業界だったので、土木や建築だけだはなく、不動産活用などにも力を入れていきたいと思っています。

これまで有床の産婦人科病院や福祉施設、保育園など企画提案から手掛けてきました。

■会社として取り組んでいることなどお聞かせください。

特に力を入れているのが、組織づくり（仕組み化）になります。

労働時間の問題や、一人に業務が偏ってしまうなど、様々な課題があります。

経営者・マネージャー層・部下、それぞれが自分の役割を認識し、集中して仕事ができる環境づくりに力をいれています。

会社名 **株式会社KEIHIN**

代表者 代表取締役　飯島一貴

住　所　川崎市川崎区渡田３丁目17-7
電　話　044-333-8867
ＦＡＸ　044-333-8869

代表者プロフィール

家族構成	妻・子2人
略　歴	川崎市立宮前小学校・川崎市立富士見中学校・武相高校　卒業 横浜ベイスターズ（現・横浜DeNAベイスターズ）・株式会社KEIHIN
趣　味	ゴルフ：現在一番力を入れているスポーツで奥様とも一緒に出掛けるそうです。 （因みに好きなブランドはCallaway） 野球：10年前から都内リトルシニアのコーチをしています。 今年の甲子園には教え子が5名も出場しました。
モットー	凡事徹底
社長就任日	令和4年4月

■誕生から学生時代

飯島社長は現会長であるご尊父・博貴さんのご長男(2人兄弟)として誕生しました。

生まれも育ちも川崎市川崎区で幼少期はよく多摩川でザリガニを捕まえたり、アニメのキン肉マンを見たり、お菓子はすももが大好きだったと懐かしそうに話してくれました。

また、川崎球場でのロッテ戦は毎日のように観戦していたそうで、プロ野球はとても身近な存在だったと感じていたそうです（憧れは落合博満選手）。

そして小学校に入学すると町内の少年野球チームに所属し、野球に没頭する日々が始まります。ポジションはピッチャーを務めており、武相高校にはスポーツ推薦で進学しました。

野球部での思い出について話を伺うと「載せられないことばかりです(笑い)」とのこと！「今でいう熱中症のような状態で朝から晩まで練習することは当たり前だった」とトレーニングもかなり過酷だったそうです。

■就職、そしてKEIHINへ

高校卒業後、プロ野球選手になることを目標にトレーニングをしながら、各球団のプロテストを受験していきました。また、その当時の野茂英雄選手の活躍に影響をうけ、独立リーグのキャンプに参加するため、なんと単身アメリカに渡りフロリダやカリフォルニアへモーテルに泊まりながら長距離バスで移動したりもされたそうです（その際、周りの忠告を無視して深夜に外出し、危険な思いもしたとか）。

そして、知人の紹介により打撃投手を務めたきっかけで

1998年に横浜ベイスターズに入団。プロ野球に携わる仕事をする夢をかなえることができました。奥様ともこの頃出会ったそうです。

その後体調を崩し横浜ベイスターズを退職後、2003年に㈱KEIHINに入社されます。

■社長就任、これからの展望

㈱KEIHINは1982年7月にご尊父・博貴さんが設立し、当時は㈱京浜ラインという社名で主に道路区画線・道路標識事業を営んでいました。

元々「いつかは自分が会社を継ぐ」という意志をお持ちで、高校時代などアルバイトで作業もされたそうですが、入社して改めて「体が資本であること」や「お金を稼ぐ大変さ」、また「常に危険と隣り合わせな仕事である」ということを改めて痛感したとそうです。だからこそ些細なことでも気を抜かず真面目に向き合う“凡事徹底”という言葉を常に大切にしていると仰っていました。

その後、2022年4月に父・博貴さんより㈱KEIHINの社長を譲り受けますが、その際に「社員のことを第一に考えなさい」と声をかけられたそうです。

寡黙な父からかけられたというこの言葉もこれからも大切にしながら社長業を邁進していきたいと飯島社長らしくさわやかに話してくれました。

■飯島社長より皆様へ

この度は新社長就任インタビュー有難うございます。

現在我々を取り巻く環境として、様々な社会情勢が加味され非常に不安定な部分が大きく、建設業の立ち位置も臨機応変に多種多様な事柄が求められてくる時代となりました。

また、地球温暖化や台風などの自然災害に直面することが今後増えてくることは間違いありません。そんな中生まれ育った川崎市の為にどのように貢献できるのか。社員を含めたステークホルダーがさらに幸せになれるのかを今後も真面目に追及していこうと思います。

また、来年は川崎市市制100周年でもあります。更なる住みやすい街づくりのためにみんなで一致団結し、フレキシブルに活動していければと思います。今後ともよろしくお願いします。

インタビュー中に飯島社長がよく口にしていたのが“真面目”という言葉でした。

何事に対しても真摯に取り組むという真面目な姿勢は飯島社長が野球を通じて培ったスポーツマンシップの精神に通じているのだと感じました。

そして社員に対して一番心掛けている事を伺うと、“話しやすい存在であること”と即答。自分からみんなに話しかけることで社員の方たちが遠慮なく飯島社長の仕事部屋に入ってきて愚痴や相談をしてくれるようになったそうです。

また、「現場の事に関しては特に口出ししませんが、雰囲気良く働いてくれているかはとても気になります」とも。人を大事にする姿勢が飯島社長からとても伺えました。

飯島社長本日はお時間を頂きありがとうございました。

今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

会員の作品

工事名称　白鳥中学校体育館改修その他工事
工事場所　川崎市麻生区白鳥１丁目５番１号
工事概要　既存体育館の内外装大規模改修及び模様替えに伴う改修工事
鉄骨造２階建て　延べ面積825.9㎡
（体育館改修工事　渡り廊下改修工事　渡り廊下新設工事　屋外付帯工事　機械設備工事）
発 注 者　川崎市長
監督官庁　川崎市まちづくり局施設整備部長寿命化推進担当
工　　期　令和４年５月６日～令和５年３月31日
施　　工　東生建設　株式会社
☆令和5年度　川崎市優良事業者表彰（業種：建築）　被表彰者

工事名称　東大島小学校校舎改修その他その２工事
工事場所　川崎市川崎区大島 5-25-1
工事概要　1.建築工事：既存校舎の普通教室、特別教室及び廊下の内装改修
（床、天井、壁、建具、家具）、エレベーター設置
2.電気設備工事：電灯設備、動力設備、構内情報通信網設備、
構内交換設備、情報表示設備、拡声設備、火災報知設備等
3.機械設備工事：冷暖房設備、換気設備、給排水設備、給湯設備等
4.昇降機設備工事
発 注 者　川崎市長
監督官庁　川崎市まちづくり局施設整備部長寿命化推進担当
工　　期　令和４年6月10日～令和５年2月28日
施　　工　大川原建設　株式会社
☆令和5年度　川崎市優良事業者表彰（業種：建築）　被表彰者

会員の作品

工事名称　菅北浦地区下水枝線第58号工事
工事場所　川崎市多摩区菅北浦２丁目地内
工事概要　管きょ工(開削)(雨水)内寸1700㎜×1000㎜～1800㎜×1000㎜　L＝63.9m
管きょ工(開削)(汚水)内径250㎜　L＝48.3m
マンホール工　3箇所
特殊マンホール工　1箇所
立坑工　2箇所
付帯工　1式
発 注 者　川崎市上下水道事業管理者
監督官庁　川崎市上下水道局　下水道部　中部下水道事務所
工　　期　令和4年2月7日～令和5年3月31日
施　　工　株式会社　織戸組
☆令和5年度　川崎市優良事業者表彰(業種：下水管きょ)　被表彰者
コメント　府中街道における雨水対策のためのボックスカルバート布設工事で、埋め戻し材として流動化処理土を使用し、施工しました。

工事名称　市道川崎町田線舗装道補修(切削)工事
工事場所　川崎市幸区南幸町２丁目21番地先
工事概要　工事延長　L＝283.5m　　道路幅員　W＝22.0～39.74m
切削オーバーレイ(A)　A＝1750㎡
切削オーバーレイ(B)　A＝1735㎡
カラー舗装(A)　N＝15箇所
カラー舗装(B)　N＝4箇所
区画線工　N＝1式
発 注 者　川崎市長
監督官庁　川崎市幸区役所道路公園センター
工　　期　令和4年12月19日～令和5年3月31日
施　　工　株式会社　佐藤工務店
☆令和5年度　川崎市優良業者表彰(業種:舗装)　被表彰者

コメント　本工事では、川崎市として初めて施工する環境配慮型高耐久舗装工として、ポリマー改質アスファルトⅡ型に花王（株）が無償提供する「廃 PET 活用高耐久アスファルト改質剤」を添加した混合物『密粒度 AS 混合物廃 PET 改質剤　超高耐久（20)』を使用しました。廃 PET 活用高耐久アスファルト改質剤を添加することにより、バス停等で施工される「半たわみ舗装」と同程度の強度と耐久性を有するアスファルト混合物になります。施工前に試験練りや発注者立会いの上で試験施工を実施し、各種試験結果を提出、承認いただいた上で施工しました。

会員の作品

工事名称　市道浮島町１号線道路補修(打換･切削)工事
工事場所　川崎市川崎区浮島町７番地先
工事概要　工事延長　L＝963.0m　　工事幅員　W=5.1m～10.4m
車道舗装(A)　A＝1,100㎡
車道舗装(B)　A＝1,620㎡
溶融式区画線(A)　L＝1,080m
溶融式区画線(B)　L＝540m
発 注 者　川崎市長
監督官庁　川崎市川崎区役所道路公園センター
工　　期　令和4年12月26日～令和5年3月31日
施　　工　重田造園土木　株式会社
☆令和5年度　川崎市優良事業者表彰(業種:舗装)　被表彰者
☆令和5年度　若手技術者表彰　被表彰者　村石　明洋(重田造園土木　株式会社)

◆表紙の写真

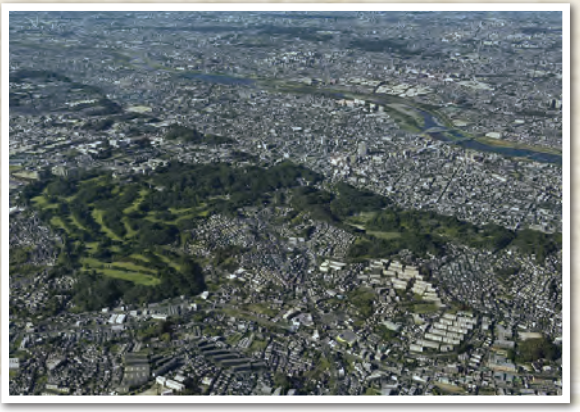
生田緑地

生田緑地は、多摩区と宮前区にまたがる多摩丘陵の一角に位置し、標高 84 mの枡形山をはじめとした起伏に富んだ地形が特色です。昭和 16 年に面積約 165.5ha が都市計画決定され、昭和 18 年から用地買収を始め、昭和 39 年度から公園施設の整備を進めています。

現在は面積約 179.7ha が都市計画決定され、その内約 117.4ha を市民に供用し、多摩丘陵の自然と、これを背景とした個性あふれる数々の博物館を配し、また、歴史的な遺跡等が残される市民の貴重な財産となっています。

生田緑地には本来の植生（自然植生）であるシラカシ林等もわずかに残っていますが、人々の生活に関わってきた里山としてクヌギ・コナラの二次林が多く分布しており、生物の宝庫となっています。そのほかメタセコイア等の多様な公園樹も植えられ、魅力ある景観を形成しています。

また、縄文早期の土器や生田長者穴横穴古墳群のある地としても知られ、さらに鎌倉時代に重臣として活躍した稲毛三郎重成が築いたと伝えられる枡形城跡もあり、歴史のおもかげを随所にとどめています。



生田緑地全景

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。先ずは、協会ニュース 2023 年 9 月号発刊に当たり、お忙しい中ご協力を頂いた関係各位に感謝申し上げます。

さて、今年の夏は例年にないほどの記録的な暑さでした。猛暑を知らせるニュースが連日のように流れていた中、暑さに負けるとも劣らない“熱気”を私たちにもたらせてくれたのは、何と言っても、WBC で日本代表の優勝に貢献し、MVP を獲得した、MLB ロサンゼルス·エンゼルスの『二刀流スーパースター大谷翔平選手』の活躍ぶりだったのではないでしょうか。

大谷選手といえば、ホームランを打った時の、パフォーマンスがお馴染みとなり、KABUTO は世界で大人気となっています。あの兜は、鹿児島県にある、甲冑工房の職人さんによる特注品で、重さは 2 キロもあるそうです。大谷選手効果に便乗して、工房には日本人だけでなく、外国人の方も訪れるようになったそうです。日本の伝統工芸、職人さんの技術が再認識されることは、喜ばしいことですね。

長かったコロナ禍がやっと終息を迎え、海外からの観光客も回復傾向に向かい始めました。日本を訪れる外国人観光客から見た日本の魅力と言えば、食文化、ショッピング、観光など、たくさんありますが、その中のひとつに、「日本の清潔さ」というところにも定評があります。整備された美しい道路、無料で使用できる清潔で快適なトイレ、そして飲用できるほど設備が整い、衛生管理された水道水。日々安全で快適な街づくりに従事する我々としても、公共施設の清潔さを評価されることは大変名誉なことと思います。

大谷選手を筆頭に、遠い海の向こうで、私達に夢と希望、感動を与えてくれる日本人選手の奮闘をお手本に、我々も日々の建設現場にて、チーム一丸となって、世界に誇れる街づくりをめざしていきましょう。

まだまだ残暑が厳しい今日この頃ですが、気持ちを引き締めて、安全第一で取り組んでいきましょう。

『勝って兜の緒を締めよ』

それでは、今日もご安全に！！

一般社団法人 川崎建設業協会
川崎市川崎区宮本町7番地5
電話044-244-5156㈹ FAX044-211-2420
一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

川崎建設業協会のTwitterです。
ぜひご登録をお願いします。

発行所…… **一般社団法人　川崎建設業協会**
川崎市川崎区宮本町7番地5
電話　044-244-5156 ㈹　　FAX　044-211-2420
発行責任者……山根　　崇
編集者……一般社団法人　川崎建設業協会　企画委員会